

## 次世代自動車用高性能蓄電システム技術開発

平成23年度概算要求額 24.8億円

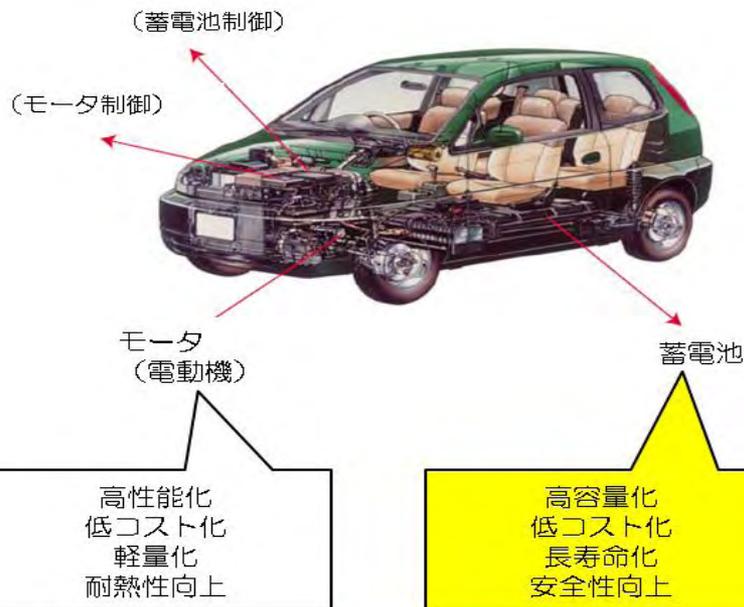
### 事業の概要・目的

○蓄電池は、地球温暖化対策に不可欠な次世代自動車（電気自動車、プラグインハイブリッド自動車等）の中核部材です。

○欧米、中国、韓国においても次世代自動車の高性能蓄電池の開発が国家レベルの支援を受け激化しています。

○CO<sub>2</sub>排出量の大幅削減と産業競争力の強化を図るため、高性能かつ低コストな蓄電池及びその周辺機器を開発し、プラグインハイブリッド、電気自動車の早期普及に向け、2015年頃には、蓄電池容量を2006年比1.5倍、コストを1/7に。2030年には蓄電池容量を現状の7倍、コスト1/40を目指します。

### 事業イメージ



### ○主な目標

小型電気自動車→プラグインハイブリッド→本格的電気自動車

	2006年	2010年	2015年	2020年	2030年
性能	1	1倍	1.5倍	3倍	7倍
コスト	1	1/2	1/7	1/10	1/40

# 革新型蓄電池先端科学基礎研究事業

平成23年度概算要求額 30.0億円

## 事業の概要・目的

○蓄電池は、地球温暖化対策に不可欠な次世代自動車（電気自動車、プラグインハイブリッド自動車等）の中核部材です。

○欧米、中国、韓国においても次世代自動車の高性能蓄電池の開発が国家レベルの支援を受け激化しています。

○日本の国際競争力の維持・向上には日本全体としての技術的な蓄積が必要です。

○そこで、電池の基礎的な反応メカニズムを解明することで、ガソリン車並みの走行性能を有する本格的な電気自動車等に必要革新型蓄電池を実現するための基礎技術の確立を目指します。

## 事業イメージ

### 基礎研究拠点



自動車メーカー

電池メーカー

大学

公的研究機関

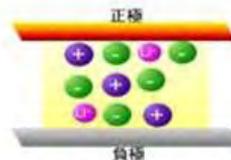
人材育成  
情報発信

産学官の強力な連携等

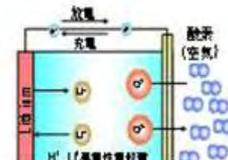
国際連携



高度な解析技術の開発



電池反応メカニズムの解明



革新型蓄電池の開発